

平成24年度事業計画書

(公財)滋賀県水産振興協会

平成24年3月

平成 24 年度事業計画

< 公益目的事業 >

(1) ニゴロブナ増殖事業

ニゴロブナ資源の回復を図るため、以下を行う。

- 1) 琵琶湖周辺の水田に卵、ふ化仔魚を放流し、約 1 ヶ月後の中干しの際に流下させる。
(県補助事業)
- 2) 県の実施する内湖の生産機能の回復試験のため、西の湖周辺の水田にふ化仔魚を放流する。
(県委託事業)
- 3) 県の実施する内湖の生産機能の回復試験のため、栽培漁業センターで生産した約 2cm サイズの種苗を西の湖に放流する。
(県委託事業)
- 4) 体重約 20g の大型種苗を栽培漁業センター、山田地先筏で生産し、琵琶湖に放流する。
(県補助事業)
- 5) 滋賀県漁連より体重約 20g の大型種苗を購入し、琵琶湖に放流する。
(独自事業、一部寄付金充当)
- 6) 放流種苗に標識を付け、放流の効果を把握する。また、今後の放流方法の参考とする。
(県補助事業)
- 7) 各種団体等が放流に供するニゴロブナ種苗を販売する。
(独自事業)

	H24 計画	H23 実績
1) 水田放流	8,000 千尾	12,827 千尾 ^{*1}
2) 西の湖周辺水田放流	2,000 千尾	2,274 千尾
3) 西の湖 2cm 種苗放流	500 千尾	526 千尾
4) 大型種苗、生産放流	900 千尾	854 千尾
5) 大型種苗、購入放流	50 千尾	112 千尾
6) 標識調査		73% ^{*2}
7) 種苗販売	3,000 千尾	2,984 千尾

^{*1} うち水田放流は 11,906 千尾

^{*2} 調査尾数 1,750 尾

(2) ホンモロコ増殖事業 (県委託事業)

ホンモロコ資源の回復を図るため、以下を行う。

- 1) 琵琶湖周辺の水田に卵、ふ化仔魚を放流し、約 1 ヶ月後の中干しの際に流下させる。
- 2) 県の実施する内湖の生産機能の回復試験のため、西の湖周辺の水田にふ化仔魚を放流する。

	H24 計画	H23 実績
1) 水田放流 (2cm 種苗数)	8,000 千尾	(新規事業)
2) 西の湖周辺水田放流 (ふ化仔魚数)	2,000 千尾	2,079 千尾

(3) 人工河川管理運用事業 (県委託事業)

アユ資源の維持、培養を図るため、以下を行う。

- 1) 8月末から9月上旬にかけて養成親魚を購入し(淡水組合に再委託)、安曇川人工河川に放流する。
- 2) 9月上旬から10月中旬に天然親魚を特別採捕し、姉川人工河川に放流する。

	H24 計画	H23 実績
養成親魚放流	8 トン	8 トン
天然親魚放流	4 トン	4.7 トン

H23 年度の流下仔魚数 = 19.5 億尾

(4) 湖づくり活動支援事業

固有在来魚類の資源回復を図り、多様な琵琶湖の生態系を保全するため、以下を行う。

- 1) ワタカ種苗を、栽培漁業センターで生産し放流する。(県委託事業、独自事業(寄付金充当))
- 2) ワタカ種苗に標識を付け、放流の効果を把握する。(県委託事業)
- 3) ワタカ種苗を東北部流域下水道事務所に販売する。(独自事業)

	H24 計画	H23 実績
1) ワタカ種苗放流	340 千尾	367 千尾
2) ワタカ標識調査		89% ^{*1}
3) ワタカ種苗販売	30 千尾	137 千尾

^{*1} 調査尾数 296 尾

(5) 産卵繁殖場保全事業

滋賀県が整備した産卵繁殖場および天然の産卵繁殖場を保全、調査することで、琵琶湖の生態系の維持、保全を図り、また、ニゴロブナ、ホンモロコの増殖を図るため、以下を行う。

- 1) 沿岸漁場整備開発事業により沿岸域に設置された18箇所の増殖場及び南湖の砂地造成漁場について、施設の破損等や集魚状況の確認、標識灯の太陽電池パネルの清掃、雑木の伐採等を行い、施設の機能維持と湖上事故防止に努める。(県委託事業)
- 2) ヨシ帯等の機能の維持、回復のため「びわこ環境保全活動組織」の保全活動を支援する「滋賀県環境・生態系保全地域協議会」に参画し、その活動を通じて、琵琶湖の生態系の保全に寄与するため、経費の支出管理、資金の積立、管理等の会計事務活動を行う。(受託事業)
- 3) 琵琶湖の産卵繁殖場にてニゴロブナ、ホンモロコの再生産を促し、資源の維持、増殖を図るため、産卵繁殖場の産卵、生育状況調査を行う。(独自事業)

	H24 計画	H23 実績
1) 沿整増殖場管理点検	19ヶ所	19ヶ所
2) 環境・生態系保全地域協議会支援	会計事務の支援	会計事務の支援
3) 産卵繁殖場調査事業	4ヶ所	(新規事業)

(6) 水産加工業振興対策事業 (独自事業)

水産加工業者の原材料の安定的な確保、新製品の開発、普及宣伝活動等を行うための活性化資金を貸付け、経営の安定化と加工業の振興発展に資する。

- 1) 「水産加工業振興対策資産」を滋賀県水産加工業協同組合に貸し付け。

	H24 計画	H23 実績
1) 水産加工業協同組合資金貸付 貸付額	2 億円	2 億円

(7) 情報提供事業 (独自事業)

協会の活動を広く一般に周知し、漁業者に栽培漁業の普及啓発を行い、及び、漁獲状況を把握するため、以下を行う。

- 1) 「協会ニュース」を発行し、放流事業結果を公開する。
- 2) インターネット上のホームページに、放流事業結果、事業計画、決算内容等を公開する。

<http://www.ex.biwa.ne.jp/~fishlake>

- 3) ニゴロブナ、ホンモロコ漁獲量のアンケートを実施する。

	H24 計画	H23 実績
1) 協会ニュース発行	150 部	150 部
2) ホームページ	随時更新	随時更新
3) 漁獲量アンケート (配布数)	2,000 枚	約 1,000 枚

収支予算書

平成24年 4月 1日から平成25年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[79,000]	[79,000]	[158,000]
受取補助金等	[70,714,000]	[4,084,000]	[74,798,000]
負担金収入	[3,000,000]	[0]	[3,000,000]
寄附金収入	[1,700,000]	[0]	[1,700,000]
受取寄附金	[21,319,000]	[0]	[21,319,000]
雑収入	[15,232,000]	[0]	[15,232,000]
経常収益計	112,044,000	4,163,000	116,207,000
(2) 経常費用			
事業費	[127,813,000]	[0]	[127,813,000]
管理費	[0]	[4,163,000]	[4,163,000]
経常費用計	127,813,000	4,163,000	131,976,000
(うち人件費)	49,899,000	1,939,000	51,838,000
評価損益等調整前当期経常増減額	-15,769,000	0	-15,769,000
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	-15,769,000	0	-15,769,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-15,769,000	0	-15,769,000
一般正味財産期首残高	203,194,000	0	203,194,000
一般正味財産期末残高	187,425,000	0	187,425,000
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	-21,319,000	0	-21,319,000
当期指定正味財産増減額	-21,319,000	0	-21,319,000
指定正味財産期首残高	1,219,410,000	0	1,219,410,000
指定正味財産期末残高	1,198,091,000	0	1,198,091,000
III 正味財産期末残高	1,385,516,000	0	1,385,516,000

役員名簿

(平成24年5月現在)

役職名	氏名
理事長	田口 宇一郎
常任理事	大江 孝二
理事	青木 幸一
〃	磯崎 和仁
〃	久保 明彦
〃	鈴木 良次
〃	中川 豊彦
〃	永尾 一夫
〃	西 居 悟
監事	安孫子 平次
〃	力石 伸夫
〃	中嶋 信夫

役職名	氏名
評議員	青木 洋
〃	荒井 修亮
〃	奥村 治一郎
〃	小谷 博哉
〃	佐野 高典
〃	鳥塚 五十三
〃	松井 俊治
〃	松岡 正富
〃	望月 幸三